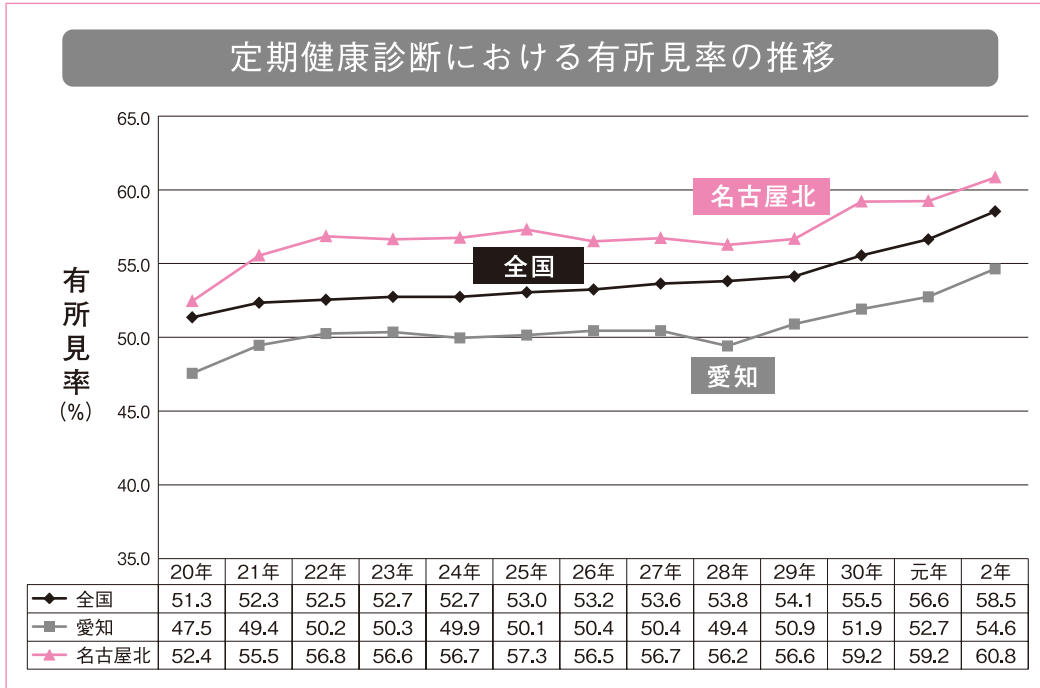


# 令和2年の健康診断結果報告書の取りまとめ結果

— 名古屋北労働基準監督署 —

(グラフ1)



有所見率は長期的に増加傾向

労働基準監督署では、管内の事業場から受理した定期健康診断結果報告書及び有機溶剤、特定化学物質などの特殊健康診断結果報告書の情報を分析し、行政施策の基礎資料としています。

今般、令和3年度全国労働衛生週間を迎えるにあたり、名古屋北労働基準監督署（管轄：名古屋市中区、北区、東区、守山区、小牧市、春日井市）が令和2年に受理した上記健康診断結果報告書を取りまとめましたのでお知らせします。

定期健康診断の有所見率は、全国、愛知、当署管内とも長期的に増加傾向を示しています。

令和2年に実施した定期健康診断では（グラフ1）、全国58・5%、愛知54・6%となっており、前年より1・9ポイント増加しています。当署管内では60・8%となり、前年より1・6ポイント増加し、全国、愛知より

高い値となりました。

また、令和2年の有所見率を業種ごとに見てみますと（グラフ2）、清掃・と畜業（73・6%）、建設業（69・0%）、運輸交通業（67・5%）、貨物取扱業（66・7%）などの現業作業を多く行っている業種で高い値となっています。

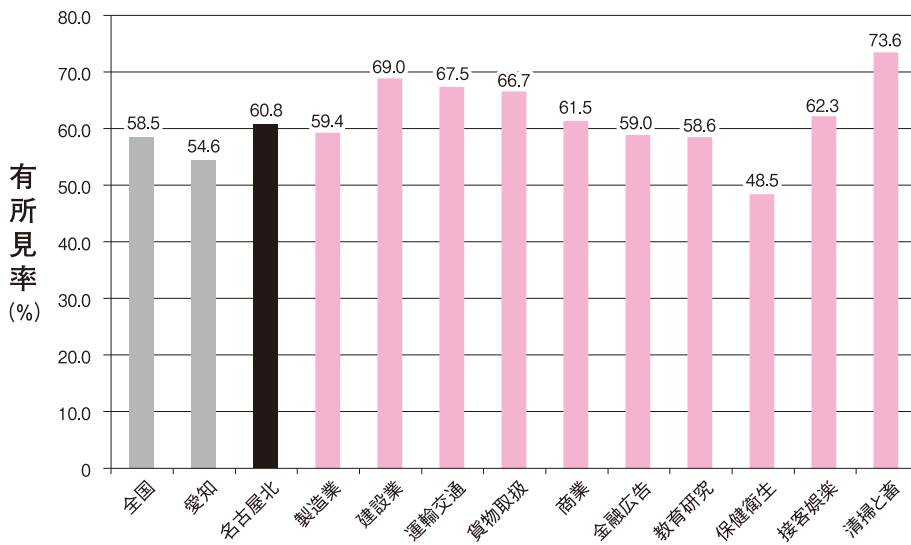
検査項目ごとの有所見率では（グラフ3）、血中脂質が33・6%で最も高い値となり、続いて肝機能の18・1%、血圧の16・9%となりました。

有機溶剤、特定化学物質、電離放射線、鉛業務を対象とした特殊健康診断では（グラフ4）、有機溶剤の有所見率は3・8%、特定化学物質1・4%、電離放射線4・3%、鉛4・0%となっています。

定期健康診断結果から、2人に1人が何らかの所見を抱えながら働いておられます。疾病や障害を抱える労働者の中には、仕事上の理由で適切な治療

(グラフ2)

### 定期健康診断業種別有所見率（名古屋北 令和2年）



を受けられない場合や職場の理解、支援体制不足により離職に至る場合があります。

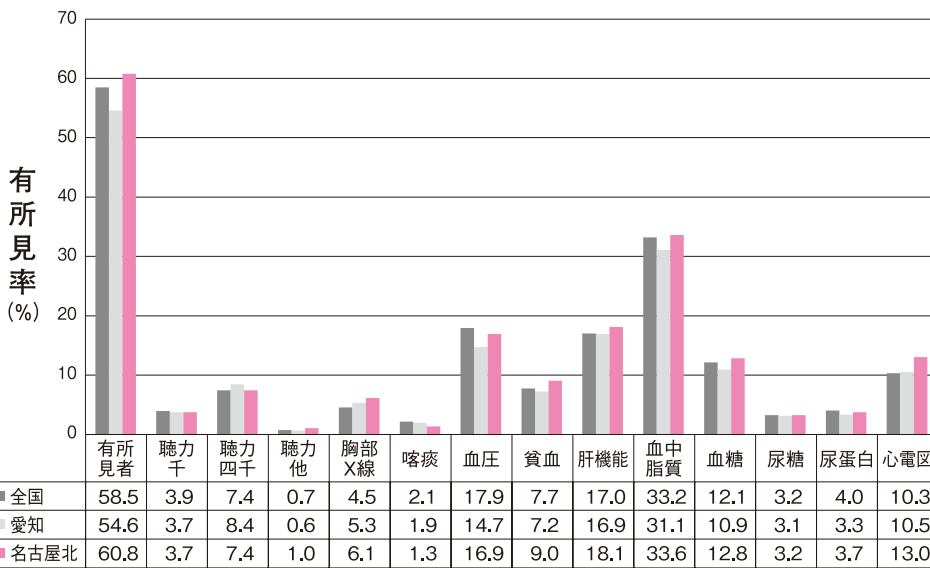
一方、医学の進歩により「不治の病」から「長く付き合う病気」に変化しつつあり、病気になっ

たから必ずしも離職しななければならぬ状況ではなくなってきたいます。こうした状況の中「事

業場における治療と職業生活の両立支援のための「ガイドライン」が公表され、治療と職業生活を両

(グラフ3)

### 定期健康診断 項目別 有所見率（令和2年）

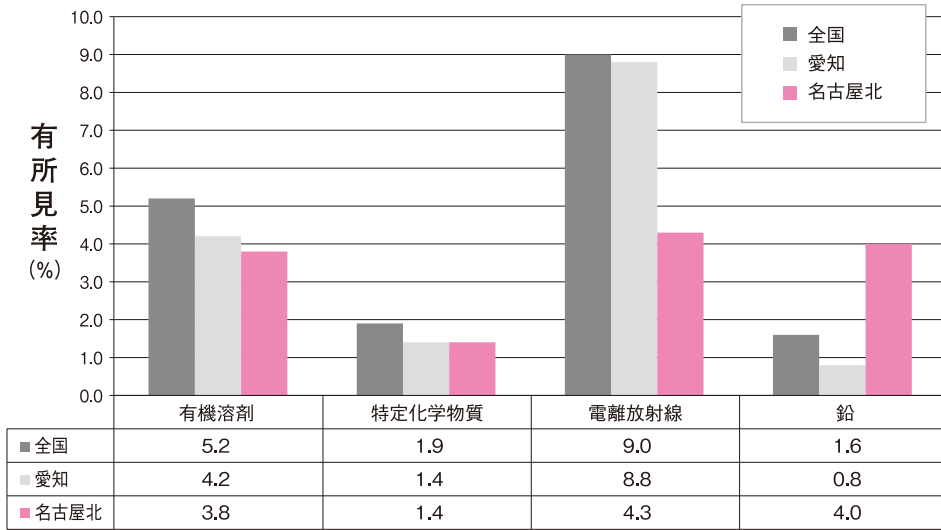


令和2年の新型コロナウイルス感染症のり患による休業4日以上の労働災害は、全国で6000人以上発生しております。皆様の事業場におかれま

立しやすい休暇制度・勤務制度の導入など環境整備、治療と職業生活の両立支援の進め方などが掲載されております。特にがん・脳卒中・肝疾患・難病などについての留意すべき事項が取りまとめられております。  
令和3年度も全国労働衛生週間が全国一斉に実施されます。本年度は、「向き合おう！ ところからだの「健康管理」を全体スローガンとする」とともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた副スローガンを設け「うつらぬうつさぬルールとともにみんなを守る健康職場」として、9月1日から9月30日までを準備期間、10月1日から10月7日までを本週間としています。

(グラフ4)

### 特殊健康診断 有所見率（令和2年）



しても留意すべき「取組の5つのポイント」などを事業場での感染予防対策を徹底・継続しつつ、全

国労働衛生週間の取り組みをお願いします。

## 年次有給休暇を活用して愛知県の魅力に触れよう！

～ 地域が一体となって年次有給休暇の取得促進に取り組みましょう ～

愛知労働局 雇用環境・均等部指導課

### 事業主、働く人、地域の住人の皆様へ

年次有給休暇の取得促進は、働く人にとっては心身の健康保持・増進、会社にとっては生産性向上や企業イメージの向上につながります。また、愛知県は四季折々の観光資源に恵まれているため、感染リスクを避けながら、身近な愛知県内の観光資源に触れていただくことで、地域の活性化にもつながります。

このため、地域が一体となって年次有給休暇の取得促進に取り組みましょう。

※詳しくは、愛知労働局 雇用環境・均等部指導課（☎052-857-0312）にお問い合わせください。